災害時協定



7月10日、東武バスセントラル株式会社と「災害時における バス車両による緊急輸送に関する協定」を締結しました。

市では、災害対策を強化するために、自治体や民間事業者などと災害協定の締結を積極的に進めています。

この協定は、大規模な災害などが発生し、被災者や災害対策従事者の緊急輸送が必要となった場合、市の要請に基づき、 東武バスセントラル株式会社がバス車両を運行し、避難など に協力していただくものです。

町会·自治会加入促進協定



7月3日、八潮市町会自治会連合会および公益社団法人埼玉県宅地建物取引業協会埼玉東支部と「八潮市における町会・自治会の加入促進に関する協定」を締結しました。

この協定は、公益社団法人埼玉県宅地建物取引業協会埼玉東支部が市内に所在する会員事務所を協力店とし、市が作成したパンフレットなどを転入者や住宅購入者へ配布するとともに、アパートなどの管理・仲介の新規契約時に、町会・自治会への加入の働きかけを行っていただくものです。

おいしいパンがもう少しで完成



7月31日、八幡公民館で公民館講座「子どもパンづくり教室」が開催され、小学校3年生から6年生の16人が参加しました。

手のひらに体重をかけながら、パンやピザの生地を押したり、伸ばしたり、たたむなど、みんなで協力しながらコーンパンとピザを作りました。

手に持って食べるには少し熱い焼き立てのパンを食べた子どもからは「おいしかった」「楽しかった」などの感想が聞かれました。

夏の風物詩「夜市」を開催



7月26日、27日の2日間、つくばエクスプレス八潮駅構内・ 南口駅前公園予定地などで、「八潮の夏だ!夜市だ!盆踊り 大会だ!2013」が開催されました。

夜市では、盆踊り大会、和太鼓演奏、枝豆感謝祭、プラレール・Nゲージ鑑賞などが行われました。また、特産品・推奨品・地元新鮮野菜の販売や、つくばエクスプレス沿線の有名店なども出店していました。

多くのちょうちんで飾られた会場は、約55,000人の来場者でにぎわいました。

受け継がれてきた獅子舞、今年も奉納



7月1日、2日の2日間、大瀬の浅間・氷川神社の祭礼で、獅子舞の奉納が行われました。

大瀬の獅子舞は、県の無形民俗文化財に指定されて、350年以上の歴史を持つ伝統行事です。世界遺産として登録された富士山を信仰する富士講と結びついたもので、3頭の親子獅子が富士山に登る途中の出来事を描いています。

2日間にわたって12の舞が奉納される獅子舞に、多くの方が 見学に訪れ、表情豊かな獅子の舞や舞を引き立てる笛の音に 魅了されていました。

新鮮採れたて野菜を収穫



7月20日、古新田地内の農園で「夏野菜旬採り合戦」が行われ、親子18組51人が参加しました。

八潮で育てた旬の野菜を収穫する喜びや地産地消について 関心を高めるために開催され、夏空の下で、汗を流しながら 枝豆、トマト、きゅうり、小松菜、とうもろこしを熱心に収 穫していました。

参加者からは「子どもに良い経験をさせることができた」などの声が聞かれ、農作業の心地よい疲れを感じながらも満足した表情を浮かべていました。

この広報紙は、再生紙と大豆油インクを使用しています。

●広報やしおは、毎月1回、10日(新聞休刊日を除く)に新聞折り込みで配布しています。届いていない世帯の方は、最寄りの公共施設、金融機関、市内9カ所のコンビニエンスストア、八潮駅などでお受け取りになれます。なお、次回の新聞折り込みは、9月10日(火)です。